

クラブチーム (U-15) における優秀なサッカー指導者の コーチング・メンタルモデルの構築

Constructing of a Coaching Mental Model of Excellent Soccer Club (U-15) Coaches in Japan

1K08A142-6

指導教員 主査 堀野博幸 准教授

田中学

副査 深見英一郎 准教授

【序論】

コーチング・メンタルモデルとは「指導者が選手の指導にあたり心内に構成していく理解内容であると同時にその後の指導の拠りどころとなるもの」である(北村ら, 2005)。

先行研究より海外の指導者、競技レベルが全国上位レベルである高等学校サッカー指導者、及び県レベル上位高等学校サッカー指導者のコーチング・メンタルモデルは明らかになっているがクラブチーム(U-15)のサッカー指導者についてのコーチング・メンタルモデルの研究の報告はみあたらない。そこでクラブチーム(U-15)の指導者のコーチング・メンタルモデルを構築することを本研究の第1の目的とした。また、同年代の指導者のコーチング・メンタルモデルを比較した先行研究も見当たらない。そこで、スポーツ科学部堀野研究室木下貴博との共有データである、中学校の部活の優秀な指導者のメンタルモデルと比較することを第2の目的とした。

【方法】

1. 対象者

サッカークラブチームのジュニアユースカテゴリーで監督として指導にあたっている2名の指導者を本研究の対象とした。対象者の選定は北村ら(2005)の選定条件を参考に以下の3点とした。

- 1) サッカー指導者としての指導歴が10年以上。
- 2) 監督として指導に当たったチームを継続的に勝利へ導いた実績を持つ(過去10年間に全国レベルの大会で5回以上ベスト8に入る)。
- 3) 各年代の日本代表選手あるいはJリーグ選手等の優れた選手を継続的に育成している。

2. データ収集

インタビュー調査

3. データ収集期間

2011年10月の約1ヵ月間で対象者2名のデータを収集した。

4. データ分析

質的データ分析法を用いた。

5. 信頼性の検証

以下の3点で行った。

- 1) 研究方法の明記
- 2) 研究者による点検
- 3) インタビューの半構造化

【結果】

クラブチーム(U-15)の優秀な指導者のコーチング・メンタルモデルが構築された。指導の哲学・理念・価値観・知識等について深層的なインタビュー調査を行い、コーチング・メンタルモデルの分析及び構築を行った。その結果、広義での「人間形成」、「選手支援」、及び「パフォーマンス向上」のカテゴリーが抽出された。その中でも人間形成を重視して指導を行っていることが明らかとなった。また、選手支援は人間形成に比べ、パフォーマンス向上に対し強く働きかけていることがわかった。

【考察】

クラブチーム(U-15)の優秀な指導者のコーチング・メンタルモデルについて考察を加えた。人間形成はパフォーマンス向上を通じて、つまりはサッカーを通じて行われ、これはクラブチームの指導者の特徴の1つであるということが示唆された。また、選手支援がパフォーマンス向上に強く働きかけることに関して、クラブチーム指導者の中でサッカーの指導が念頭に置かれているために起きたことであると考察された。

目的2に関して、以下の2点が考察できた。

- 1) クラブチーム指導者はサッカーを通じた人間形成を行っているが、部活動指導者は人間形成をパフォーマンス向上につなげ指導を行っていることが示唆された。部活動指導者が教師という立場から指導を行っていることが、その理由の1つの可能性として考察された。
- 2) 選手支援の働きかけに関して、クラブチーム指導者はパフォーマンス向上に、部活動指導者は人間形成に強く働きかける可能性が示唆された。全ての指導者が重視している人間形成に関するアプローチの違いから、この差異は生じているという事が、理由の1つの可能性として考察された。

しかしながら本研究はあくまでも事例研究の1つであり、クラブチーム(U-15)の優秀な指導者の一般的なメンタルモデルが明らかになったとは言い難い。また部活指導者群との比較でもインタビューア、質問項目が異なるという点から十分な比較ができてはいない。その点に関しては今後の課題であり、今後のコーチング・メンタルモデル研究に期待することとする。